

情報 × 文化 × 図書館 = 新しい可能性

- 従来の位置づけや専門性を基礎に、新たな可能性に挑戦していく県立図書館に
- 全ての人の情報や文化への“いりぐち”、人と人を結びつける公共空間を目指して

ちょっと立ち寄ってみる

図書館を難しく考えず、誰でも気軽に。

らいぶらりー公園

マルシェや自治体ブース、イベントの実施など、にぎわいや人の交流が生まれるオープンスペース。



カルチャースペース

地元音楽家らによる生演奏、イベント、展覧会など、静岡県の文化や文化に携わる人との出会いの場。使い方はみんなで考えていく。

らいぶらりーCafé



地元の学生がデザインした静岡らしい“映え”な空間を演出。定期的にテナント募集をし、地元店と利用者を結びつける。司書によるブックトークなど、図書館ならではのイベントも。

使い方はいろいろ

いろいろな人がいろいろな使い方を。

グループルーム



子どもがわいわい集まったり、学生がゼミを行ったり、おじいちゃんが俳句を詠んだり、使い方は自由。みんなで学び・議論を深める。

オンラインルーム

インターネットの利用や、コンテンツ視聴のほか会議や就活の面接などにも。自宅にネット環境がないなどのデジタルデバイドの解消へ。

一時保育室



子育て世帯が安心して学習できる場を。ひとり親の負担軽減にも。

専門性 × 利便性

情報資源、人的資源のさらなる活用を。

テーマ学習

身近な話題や課題など様々なテーマを切り口にした講座、講演会、イベント、学習会などの開催。オンライン開催やコンテンツとしての配信も積極的に実施。



オンラインコンシェルジュ

司書による対面型オンライン相談。直接会って相談しているような感覚で、自宅から図書館サービスが利用できる。

夜活支援



主に社会人による調査研究、学習を想定し、夜間コンシェルジュを配置。調査相談や資料提供を行う。

Social Distance

◎混雑状況配信システム導入

◎消毒・手洗い専用エリアの設置